



県内のNIE(教育に新聞を)新規実践指定校の担当教諭らを集めた研修会が5日、福井新聞社プレス21で行われた。オンライン形式で開かれたNIE全国大会東京大会を視聴し、言語力の育成や、社会と関わりながら進める学習の実践事例を学び意見交換した。

記事活用の実践例学ぶ 本社

県内教諭ら全国大会視聴会 本社

福井市至民中、鯖江市東陽中、越前市武生五中、勝山市北郷小、敦賀市黒河小の5人が参加。11月から日本新聞協会が配信している動画のうち、作家の真山仁さんの講演と、都内の小中高教諭らの実践報告を視聴した。

新聞投書への意見を書く道徳での実践事例について、齋藤淳悟教諭(東陽中)は「新聞には児童と社会をつなげる役割がある。取り組んでみたい」と話した。中村高教諭(黒河小)は、見出しの一部を隠して児童

NIEの実践事例を学んだ研修会＝5日、福井新聞社プレス21



に考えさせる実践を参考にしたいとした。各校の実践や課題も共有。県NIE教育研究会の

徳島泰彦事務局長は実践の習慣化をポイントに挙げた。小林真由美校長(至民中)は「今後の取り組みが

イメージでできた」と振り返った。
(大西崇弘)